

Y&MAGE

入居者・オーナー・ユーミーマンションをつなぐ情報誌

Vol.107

MY LIFE STYLE

Y&MAGE

ユーミーエージ FREE

にっぽん四季彩々

・立秋
・十五夜

からだよろこぶ

ギャップごはん

Y&M 読者プレゼント

家事セラピストの「ら・く・ら・し」

こどもの片付け

さわやかY&Mライフ

「セザール FⅢ」

山口県周南市

施工/チューケン株式会社

ユーミーインタビュー

ビューティデザイナー

長瀬 サエコさん



ユーミーからユーミー
へ引っ越して必ずもらえる

おいしいフルーツ キャンペーン

Y&M PRESENT CAMPAIGN

新しい住まい方を提案する、それが **Y&M STYLE** ユーミースタイル

につぼん四季彩々

日本には四季があり、季節とともに移ろう自然の風景や折々の行事が私たちの暮らしを彩ってきました。あらためてその美しさにふれ、心豊かな日々を送りましょう。

立秋

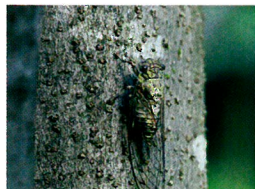
りっしゅう

二十四節気(にじゅうしせつき)の「りっしゅう」は、八月七日ごろ。涼風が立つ、秋のはじまりを表している。これを境に、季節の挨拶である。暑中見舞いは残暑見舞いとなる。

立秋とされているのは、八月七日ごろ。暦の上では秋が訪れたとはいえ、実際には夏の暑さはこれからが本番です。しかし、このころになると、ほおをなでる風にひんやりと秋の気配を感じるがあります。この暑さももうすぐ終わり、とこそり知らせてくれているようです。

立秋とされているのは、八月七日ごろ。足元をみれば、秋の草がちらほら。万葉の歌人・山上憶良(やまのうえのおくら)は、「秋の野に咲きたる花を指折りかき数ふれば七種(ななくさ)の花」と詠みました。休日のお出かけは、古の歌人に想いをはせながら、秋の七草(萩、桔梗、葛、藤袴、女郎花(おみなえし)、尾花(すすき)、撫子)を探して散策、というのも楽しいですね。

立秋を過ぎれば、先祖の霊をお迎えするお盆。そして夏休みもそろそろ終わり…。夏の猛暑にはうんざりしていても、終わってしまうのは少し寂しい気もします。終わりがあるからこそ今を大切に、ということもあります。立秋という節目は、今しかないこの季節を味わう大切さをあらためて教えてくれているのかもしれない。



蛸(ひぐらし)は秋の季語。晩蟬(ばんせん)とも書き、秋のイメージも強いセミですが、実は6月中旬頃から発生し、鳴き始めます。でもやはり独特の哀愁を帯びた「カナカナカナ…」という鳴き声は、初秋のひんやりとした空気に似合います。

きせつもの



金魚ちょうちん

約150年前に熊谷林三郎氏が青森の「ねぶた」にヒントを得て、伝統織物「柳井縞」の染料を用いて創始したとされる山口県柳井市の伝統工芸品。8月13日には柳井金魚ちょうちん祭りが開催されます。

金魚ちょうちん(手書き・箱入)大2,300円、中1,600円、小1,200円(すべて税込)
木阪堂文堂

TEL (0820) 22-0150